
2026年度
裁判所事務官(一般職)小論文
講評&解答例



問題

現代社会では、インターネット上で個人が自由に意見や情報を発信し、共有できる環境が広がっている。こうした環境が私たちの生活に与えている影響について、利点と課題の両面からあなたの考えを論じなさい。

論点

- 1 インターネット上で個人が自由に意見や情報を発信し、共有できる環境が広がっている現状
- 2 1の環境が私たちの生活に与えている利点
- 3 1の環境が私たちの生活に与えている課題
- 4 3に対する対応策

解答例

現代社会において、ブログ、SNS、動画投稿サイトなどの普及によって、インターネット上で個人が自由に意見や情報を発信し、共有することが可能になっている。

このことの利点として、マスメディアを介さずとも個人が意見や情報を即時に発信できること、かつ、それらを瞬時に多くの人に拡散し、広められることが挙げられる。また、匿名で行う場合も含めて、共通の目的や関心事などを持つ者同士が地理的、時間的制約を受けることなく双方向に交流できることが指摘できる。人間関係の希薄化が指摘される昨今において、このようなオンラインでのコミュニティが孤独、孤立を防ぐ精神的な居場所になることも少なくない。

しかし、このような利点は以下の課題ももたらしうる。

第1に、偽情報や誤情報が瞬時に広範囲にわたって拡散されることである。例えば、「〇〇を摂取すると病気が改善する」という偽情報を信じて有害物質を摂取した結果、健康被害に遭ったり、ディープフェイクによって投票行動が操作されて世論がゆがめられるといったことが起こり得る。

第2に、SNSを通じて意図せずに犯罪被害に遭ったり加害者になるリスクが高まっていることである。実際に、SNSでやり取りを重ねて、信用させたり、恋愛感情を抱かせたりするなどして金銭をだまし取るSNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数や被害額は、近年、増加傾向にある。また、詐欺、強盗の実行犯や犯罪組織の手先として利用されてしまう、いわゆる「闇バイト」の問題も後を絶たない状況である。

では、上記の課題に対応するために、我々はどうすればよいのであろうか。

第1に、偽情報や誤情報にだまされないようにするために、情報の発信源や一次情報を確認する必要がある。また、ファクトチェックの結果を参考にするなど、その情報について他ではどのような

に言われているのかを調べ、客観的な視座を持って意見や情報を捉える姿勢が重要になると考える。

第2に、犯罪の被害者、加害者にならないために、警察機関や行政機関などの信頼できる情報源をもとに、高度化、複雑化する犯罪手口を学ぶことが必要である。これにより、詐欺やいわゆる「闇バイト」などに巻き込まれそうになった時に回避することが可能となる。

今後、ますます高度化するであろう情報社会において、インターネット上で個人が自由に意見や情報を発信して共有できる利点を享受しつつ、上記のような課題に対処するためには、利用者である我々が危機意識を持って情報リテラシーの向上に日々努めることが不可欠だと考える。

以上

(約 1,050 字)

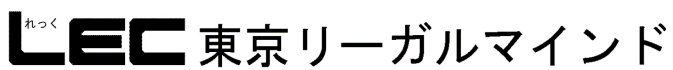
講 評

難易度：A [易]

裁判所職員採用一般職試験の小論文試験では、出題類型の変更が頻繁に生じている。今年は5年ぶりに「現代社会の時事的課題」に位置づけられる出題となった。

「私たちの生活に与えている影響」という条件を踏まえる必要はあるものの、論題は難しくない。

【解答例】の内容以外にも、課題として「個人情報の漏えいやプライバシーが侵害される恐れ」、「自らの意見が誤った意味で伝達され、言い争いに繋がる恐れ」などのことを取り上げるのも可能である。論理性を高める点では、利点と課題が対比になる内容を取り上げることが望ましいといえる。利点、課題とも取り上げられる論点は数多くある分、制限時間内に合格に値する答案を書きあげるにあたり、いかに手早く論点の絞り込みができたか、論点が拡散しないように多角的、論理的に論述できたかがポイントになるであろう。



著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2026 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載・インターネット上への無断掲載等を禁じます。

KL25665